

旧小白浜地区消防屯所解体工事

図面リスト	
図面番号	図面名称
K - 0	図面リスト
K - 1	工事概要・特記仕様書1
K - 2	特記仕様書2・付近見取図・面積表
K - 3	配置平面図・立面図
K - 4	参考写真

特記仕様書		防水工事		10. その他		2. 産業廃棄物広域認定制度の活用																																																													
<p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 旧小白浜地区消防屯所解体工事</p> <p>2 工事場所 釜石市唐丹町字小白浜61番地2</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域(内)外) 用途地域() 防火地域等(防火) 準防火() 指定なし() 2.2条) その他の地域・地区()</p> <p>4 主要用途 消防屯所</p> <p>5 敷地面積 144.67㎡(令和2年分筆登記)</p> <p>6 工事の概要 ●建築物解体撤去処分一式 構造:コンクリートブロック造 階数:1階 延床面積:64.5㎡ 建物高さ:約3.5m 床:土間コンクリート 屋根:シート防水 ●解体建築物に付属する電気設備の解体撤去処分 電気配線、コンセント類一式 ●解体建築物に付属する給排水設備の解体撤去処分 衛生器具(大便器1 手洗器1) キッチン(1槽シンク)W1200、換気設備1式 水栓器、屋外給水管(本管までの配管)、排水管等 上記建物と敷地内外構、設備、樹木を解体、撤去処分の上、整地する。</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、◎印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の[]、()及び<>内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>防水工事</p> <p>・ 防水施工 (・アスファルト防水工事業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事業 ・合成ゴムシート防水工事業 ・塩化ビニル系シート防水工事業 ・セメント系防水工事業 ・シーリング防水工事業 ・改質777ドクトール防水工事業 ・FRP防水工事業)</p> <p>石工事</p> <p>・ 石材施工 (石張り作業)</p> <p>タイル工事</p> <p>・ タイル張り (タイル張り作業)</p> <p>木工工事</p> <p>・ 建築大工 (大工工事業)</p> <p>屋根及びとい工事</p> <p>・ 建築板金 (内外装板金作業) ・ かわらぶき (かわらぶき作業)</p> <p>金属工事</p> <p>・ 内装仕上施工 (鋼製下地工事業) ・ 建築板金 (内外装板金作業) ・ パルコニー施工 (金属パルコニー工事業)</p> <p>左官工事</p> <p>・ 左官 (左官作業)</p> <p>建具工事</p> <p>・ サッシ施工 (ビル用サッシ工事業) ・ ガラス施工 (ガラス工事業) ・ 自動ドア施工 (自動ドア工事業)</p> <p>カーテンウォール工事</p> <p>・ カーテンウォール施工 (金属製カーテンウォール工事業) ・ ガラス施工 (ビル用サッシ工事業) ・ ガラス施工 (ガラス工事業)</p> <p>塗装工事</p> <p>・ 塗装 (建築塗装作業)</p> <p>内装工事</p> <p>・ 内装仕上施工 (・プラスチック系床仕上工事業 ・ カーベット系床仕上作業 ・ 木質系床仕上工事業 ・ ボード仕上工事業)</p> <p>排水工事</p> <p>・ 表装 (壁装作業)</p> <p>・ 配管 (建築配管作業)</p> <p>舗装工事</p> <p>・ 路面表示施工 (・溶融ペイント/マーカー工事業 ・ 加熱ペイント/マーカー作業)</p> <p>植栽工事</p> <p>・ 造園 (造園工事業)</p>		<p>内部足場 ※設置する (・ ※脚立、足場板等) 設置しない</p> <p>・ 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 ()</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</p>		<p>③ 最終処分</p> <p>・ (安定型) [4.4.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>がれき類、ガラス、廃プラ</td> <td>新光建設</td> <td>3km</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ (管理型) (遮断型)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>がれき類(アスベスト含)</td> <td>いわてクリーンセンター</td> <td>78km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木くず、廃プラ、繊維くず</td> <td>いわて第2クリーンセンター</td> <td>173km</td> <td></td> </tr> </table> <p>1~3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること</p> <p>4. 処分に注意を要する建設廃棄物 [4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>処理施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ COA処理木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの</p>		種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考	がれき類、ガラス、廃プラ	新光建設	3km		種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考	がれき類(アスベスト含)	いわてクリーンセンター	78km		木くず、廃プラ、繊維くず	いわて第2クリーンセンター	173km		種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考	・ COA処理木材				・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード																															
種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																
がれき類、ガラス、廃プラ	新光建設	3km																																																																	
種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																
がれき類(アスベスト含)	いわてクリーンセンター	78km																																																																	
木くず、廃プラ、繊維くず	いわて第2クリーンセンター	173km																																																																	
種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																
・ COA処理木材																																																																			
・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード																																																																			
<p>7. 完成図等</p> <p>8. 完成写真</p> <p>9. 火災保険等</p>		<p>白焼 A4版ファイル綴 2部 産業廃棄物管理票(マニフェスト票)の写しを提出すること。 成果品の具体については監督職員の指示による</p> <p>※ 作成する</p> <p>次のものを原簿(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原簿を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> <tr> <td>※カラー</td> <td>※L</td> <td>※営繕工事</td> <td>※1部</td> <td>※工用アルバムA4版</td> </tr> <tr> <td>・ 白黒</td> <td>・ 2L</td> <td>撮影要領の完成写真程度(解体工事編) 工事前後</td> <td>・ 部</td> <td>ポケット式程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 六切り</td> <td></td> <td></td> <td>・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </table> <p>・ 作成しない</p> <p>工事的目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事的目的物引き渡しまで</p>		分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー	※L	※営繕工事	※1部	※工用アルバムA4版	・ 白黒	・ 2L	撮影要領の完成写真程度(解体工事編) 工事前後	・ 部	ポケット式程度		・ 六切り			・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)	<p>1. 解体工法 [1.2.1~2]</p> <p>※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</p> <p>2. 施工計画書等 [3.9.2]</p> <p>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。</p> <p>3. 杭 [3.11.1]</p> <p>杭の解体 ・ 行う (※杭頭から mまで ・ 全長)</p> <p>杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング) ・ 粉砕による解体</p> <p>4. 樹木等 [3.12.1]</p> <p>樹木の伐採伐根 ・ 行う (図示による)</p> <p>樹木の移植 ・ 行う (図示による)</p> <p>5. 地下埋設物の埋設配管 [3.13.1]</p> <p>地下埋設物の埋設配管の解体 ※ 行う (図示による)</p> <p>6. 解体後の整地 [3.2.5]</p> <p>解体後の埋戻し及び盛り土 ※ 行う 埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3)(表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの(粒径40mm以下)を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による</p> <p>C種の場合 建設発生土受入量 m3 発生場所 受入条件</p> <p>整地の高さ ・ 現状G L ・ 図示による</p> <p>7. 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>・ 構外に撤出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に撤出する。 ・ 受入れ施設名・所在地(km) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。</p>																																											
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																															
※カラー	※L	※営繕工事	※1部	※工用アルバムA4版																																																															
・ 白黒	・ 2L	撮影要領の完成写真程度(解体工事編) 工事前後	・ 部	ポケット式程度																																																															
	・ 六切り			・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)																																																															
<p>1. 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、◎印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の[]、()及び<>内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>2. 仮囲い [2.2.1]</p> <p>※ 設ける (位置、延長等は図示) ◎ 万能鋼板 (H=2m) ・ 波形鉄板 (H=) ・ 単管シート (H=) ・ 防音シート (H=) ・ 防音パネル (H=) ・ パネルゲート (W=) × 箇所 ・ シートゲート (W=) × 箇所</p> <p>・ 設けない</p> <p>2. 騒音、防塵等の対策 [2.2.1]</p> <p>・ 「設ける (適用範囲、高さ等は図示) ・ 防音パネル ・ 防音シート ※ 養生シート ・ 設けない</p> <p>3. 交通誘導員 [2.3.1]</p> <p>※ 配置する (日 × 人 = 人日) ・ 配置しない</p> <p>4. 監督職員事務所 [2.3.1]</p> <p>・ 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (規模 m程度) ・ 備え付ける備品 ()</p> <p>※ 設けない</p> <p>5. 工事表示板 [4.4.1]</p> <p>営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。</p> <p>6. 工事用水 [4.4.1]</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p> <p>7. 工事用電力 [4.4.1]</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p> <p>8. 工事用通路 [4.4.1]</p> <p>※ 指定しない ・ 指定する (図示)</p> <p>9. 足場等 [4.4.1]</p> <p>外部足場 ※設置する (設置範囲 ※工事に必要な範囲 <2.2.4> ・) <表2.2.1> ・ 設置しない 防護シート ※設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない</p>																																																																	
<p>1. 一般事項</p> <p>◎ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ◎ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ◎ 施工体系図を現場に掲示すること。 ◎ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示</p> <p>◎ 建築物解体工事共通仕様書・同解説(最新版) ◎ 公共建築改修工事標準仕様書、公共建築物工事標準仕様書(最新版) ◎ 営繕工事写真撮影要領及び工事写真の撮り方(建築編)(最新版) ◎ 建設副産物適正処理推進要綱 ◎ 建設リサイクル法</p> <p>2. 適用基準等</p> <p>◎ 建築物解体工事共通仕様書・同解説(最新版) ◎ 公共建築改修工事標準仕様書、公共建築物工事標準仕様書(最新版) ◎ 営繕工事写真撮影要領及び工事写真の撮り方(建築編)(最新版) ◎ 建設副産物適正処理推進要綱 ◎ 建設リサイクル法</p> <p>3. 工事実績情報(CORINS)の登録 [1.1.4]</p> <p>・ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) [1.1.4] 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ※ 適用しない</p> <p>4. 電気保安技術者 [1.3.3]</p> <p>・ 適用する ※ 適用しない</p> <p>5. 事故報告 [1.3.8]</p> <p>工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。</p> <p>6. 技能士 [1.5.2]</p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種(技能検定作業)</th> </tr> <tr> <td>以下の該当工事</td> <td>・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>◎とび(とび作業)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・ 型枠施工(型枠工事業)</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・ とび(とび作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック造の壁・柱成形セメント板工事</td> <td>・ ブロック建築(コンクリートブロック工事業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事業)</td> </tr> </table>		工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	仮設工事	◎とび(とび作業)	鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)	コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事業)	鉄骨工事	・ とび(とび作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)	コンクリートブロック造の壁・柱成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事業)	<p>4. ① 再資源化等 [1.3.10] [4.4.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>中間処理施設又は再資源化施設の名称等</th> <th>所在地(km)</th> </tr> <tr> <td>※コンクリート</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト、コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※金属類</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 小形二次電池</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地(km)</p> <table border="1"> <tr> <td>※蛍光灯</td> <td>・ する</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>HIDランプ</td> <td>※しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※硬質ポリ塩化ビニル管・継手</td> <td>・ する</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ガラス</td> <td>※しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>現場利用する再資源化された建設廃棄物 [4.4.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>利用する場所(箇所)等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 鉄筋コンクリートを現場で破砕し、再生材クラッシュラン(0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。</p>		建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)	※コンクリート	指定なし		※コンクリート及び鉄から成る建設資材	指定なし		・ アスファルト、コンクリート			・ 木材			※金属類	指定なし		・ 小形二次電池			※蛍光灯	・ する	指定なし		HIDランプ	※しない			※硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・ する	指定なし		※ガラス	※しない			種類	利用する場所(箇所)等											
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)																																																																		
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て																																																																		
仮設工事	◎とび(とび作業)																																																																		
鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)																																																																		
コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事業)																																																																		
鉄骨工事	・ とび(とび作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)																																																																		
コンクリートブロック造の壁・柱成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事業)																																																																		
建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)																																																																	
※コンクリート	指定なし																																																																		
※コンクリート及び鉄から成る建設資材	指定なし																																																																		
・ アスファルト、コンクリート																																																																			
・ 木材																																																																			
※金属類	指定なし																																																																		
・ 小形二次電池																																																																			
※蛍光灯	・ する	指定なし																																																																	
HIDランプ	※しない																																																																		
※硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・ する	指定なし																																																																	
※ガラス	※しない																																																																		
種類	利用する場所(箇所)等																																																																		
<p>1. 施工調査 [5.1.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>仕様等(型式、厚さ、数量)</th> <th>調査の範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </table> <p>2. 特別管理産業廃棄物等の処理計画 [5.1.3][1.2.2]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する</p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>処分場の名称</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td>・ 廃石綿</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. PCBを含む機器類等 [5.4.1]</p> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有 (数量は図示) ・ 無</p> <p>PCB含有シーリング材 ・ 有 (施工範囲は図示) ・ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管業者に引き渡す。</p> <p>4. 特殊な建設副産物の回収及び処分 [7.3.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> <tr> <td>・ フロン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ イオン化式感知器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲			※ 図示 ・ 工事対象範囲	特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)	・ 廃石綿			回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等	・ フロン				・ ハロン				・ イオン化式感知器				・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス				<p>5. 1. 施工調査 [5.1.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>仕様等(型式、厚さ、数量)</th> <th>調査の範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </table> <p>2. 特別管理産業廃棄物等の処理計画 [5.1.3][1.2.2]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する</p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>処分場の名称</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td>・ 廃石綿</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. PCBを含む機器類等 [5.4.1]</p> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有 (数量は図示) ・ 無</p> <p>PCB含有シーリング材 ・ 有 (施工範囲は図示) ・ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管業者に引き渡す。</p> <p>4. 特殊な建設副産物の回収及び処分 [7.3.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> <tr> <td>・ フロン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ハロン</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ イオン化式感知器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲			※ 図示 ・ 工事対象範囲	特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)	・ 廃石綿			回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等	・ フロン				・ ハロン				・ イオン化式感知器				・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス			
材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲																																																																	
		※ 図示 ・ 工事対象範囲																																																																	
特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)																																																																	
・ 廃石綿																																																																			
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																
・ フロン																																																																			
・ ハロン																																																																			
・ イオン化式感知器																																																																			
・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス																																																																			
材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲																																																																	
		※ 図示 ・ 工事対象範囲																																																																	
特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)																																																																	
・ 廃石綿																																																																			
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																
・ フロン																																																																			
・ ハロン																																																																			
・ イオン化式感知器																																																																			
・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス																																																																			



釜石市建設部都市計画課

課長	主幹	課長補佐	設計	係

工事名	旧小白浜地区消防屯所解体工事	図面名	工事概要・特記仕様書1
令和3年 月 日	A3版:縮尺 NO SCALE		

1. 石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲 (図示)
貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材 料 名	定性分析方法	定量分析方法
		JIS A 1481 または JIS A 1481-2

・箇所
・箇所
・箇所
・箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 図示

・石綿粉じん濃度測定 <9.1.1>
測定点 測定時期、場所及び

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点
・	測定3		処理作業室内	・計 点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点
	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
・自動測定器による測定

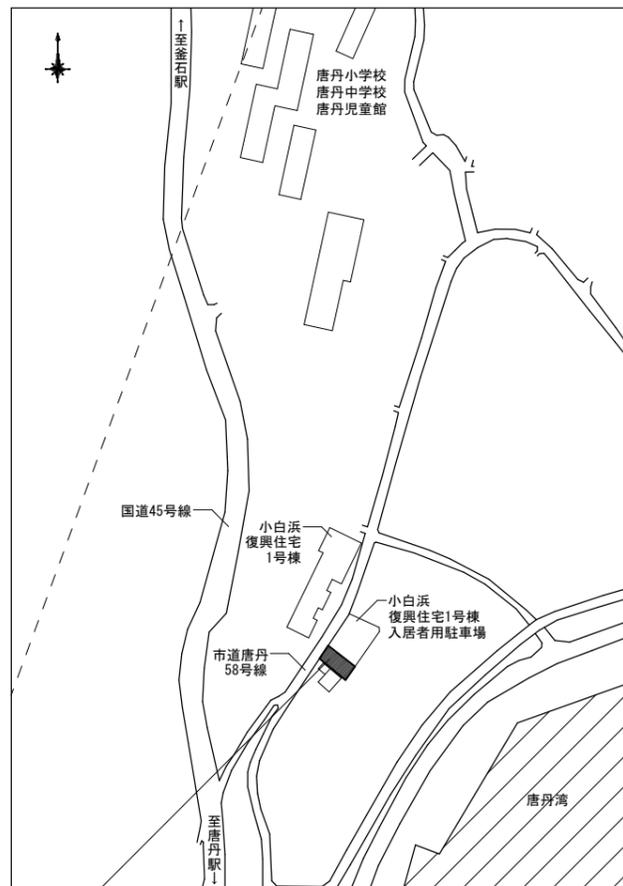
測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定5	

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4	25	5	30
・測定5			
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240

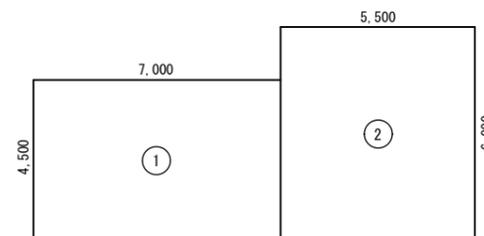
石綿含有建材の処理
・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 ※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 固形化
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 破砕して除去 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示

付近見取図 S=1/4,000

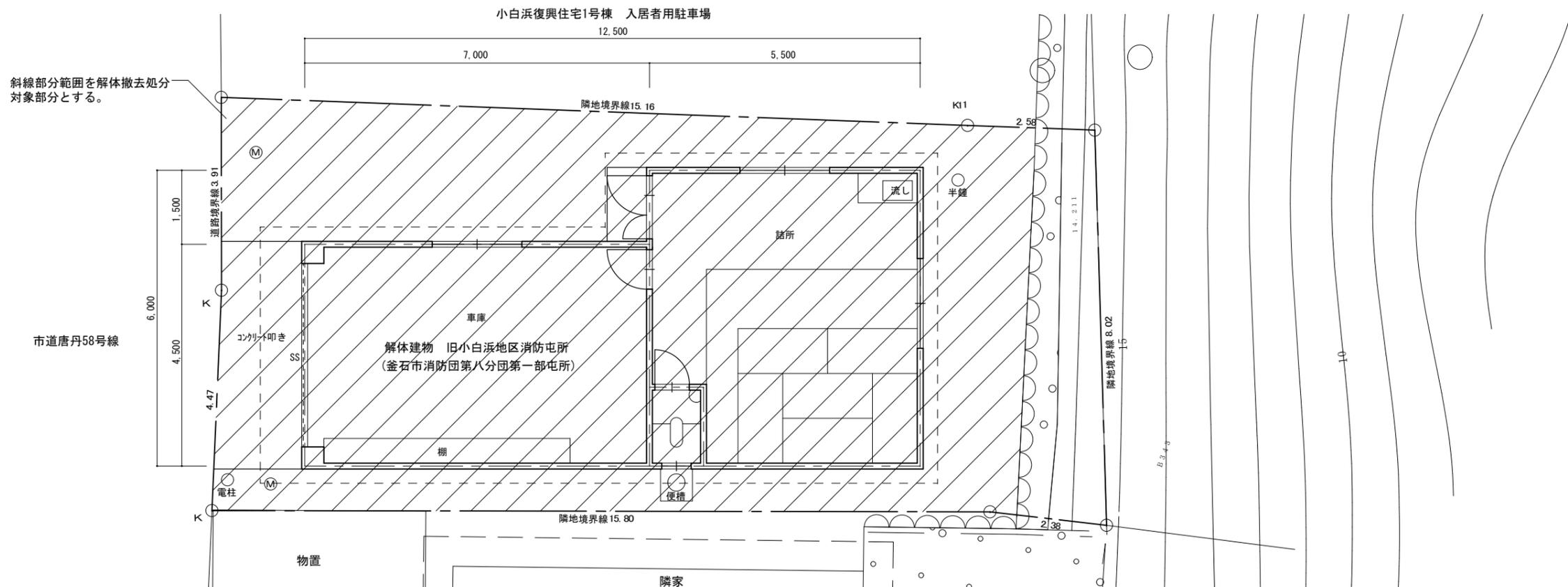


解体工事場所
旧小白浜地区消防屯所(第8分団第1部)
釜石市唐丹町字小白浜61番地2

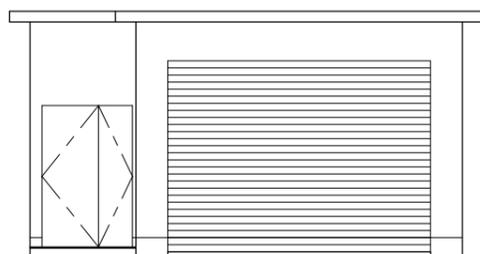
面積表 S=1/200



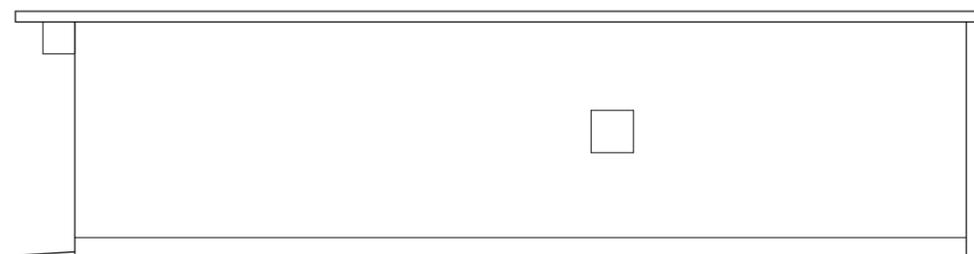
延床面積		
1階延床面積		
①	7,000 × 4,500	31,500
②	5,500 × 6,000	33,000
		64,500㎡
1階延床面積計		64,500㎡
総延床面積計		64,500㎡



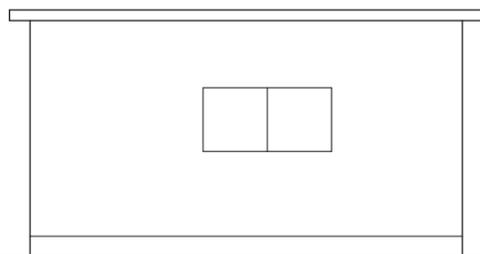
配置平面図 S=1/100



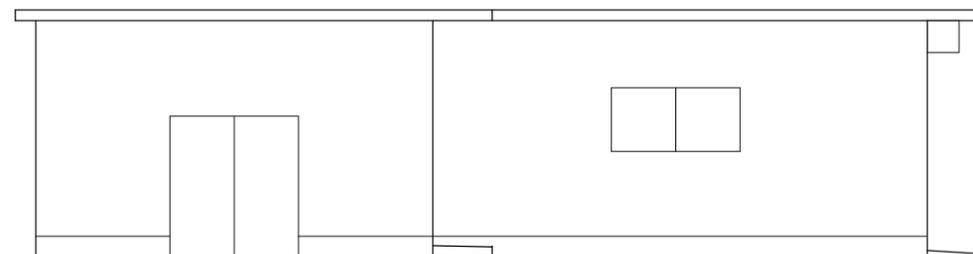
北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100



釜石市建設部都市計画課

課長	主幹	課長補佐	設計	係

工事名	旧小白浜地区消防屯所解体工事
令和3年 月 日	A3版:縮尺 1/100

図面名	配置平面図・立面図

参考写真



① 外部-北側



② 外部-東側1



③ 外部-東側2



④ 内部-車庫



⑤ 内部-詰所1



⑥ 内部-詰所2

